

出田 泰三 議員

市民の声



移住・定住促進策のさらなる充実強化を

Q 新婚世帯家賃補助制度は、県外から移住しようとしている方からすると若干利用しづらいと思われる。県内他市町には、より利用しやすい補助制度があるので、当該制度の見直し及び住宅取得等に関する新たな補助制度の創設を検討すべきでは。

A 他市町での補助要件は様々であり、転入の要件を設けているところも多く見受けられます。一方、本市の制度は対象を新婚世帯に限定していますが、転入の要件は設けていないことから利用実績も多く、利便性も良いと考えています。また、本年度より実施しているまちなか中高層共同住宅建設促進事業は先駆的な事業であり、今後も住みたまちの実現に向け様々な施策を展開し、積極的に取り組んでいきます。

(総務部長)

ホームページにおける大々的な移住・定住促進策のPRを

Q 他市町のホームページにアクセスすると、移住・定住を促すための刺激的なフレーズや動画が掲載されている。本市も独自のきめ細やかな施策があるのだから、積極的な情報発信に努めるべきでは。

A ご指摘のとおり、現在、本市のホームページのトップページには移住・定住に関する情報が掲載されています。他市町のホームページを参考にしながら、工夫、改善に努めていきます。なお、ホームページ上での情報のワンストップサービス等についても、現行システムの更新に合わせて対応していきたいと考えています。

(総務部長)



質問の主な項目

- ・専門性の高い分野での人材確保について
- ・若手職員を中心とした人材育成について
- ・イベントの情報発信について

植原 泰 議員

市民と共に



交通の安全確保のため、街路樹の適正な管理を

Q 近年、交通事故が多発する中、交差点での事故が大多数を占めている。歩行者、自動車運転者双方の視界に影響する街路樹の植栽に当たっては、後年の維持管理まで考慮しているのか。

A 街路樹には、排気ガスや病害虫に強く、良好な街並みが形成されるような樹木を選定しています。植栽後は、定期的に剪定等の維持管理を行っているほか、雑草の繁茂などで視界不良が生じた場合には除草を行っています。また、道路の拡幅など道路環境の変更等により支障が生じた場合には、関係者と協議し、移植、伐採を含め検討するなど適切に対応していきます。(建設経済部長)



コミュニティスクール導入に向けた計画は

Q 核家族化の進展や学校の統廃合により地域と子供たちとのつながりが希薄化している中で、坂出市教育大綱に掲げられている基本目標の実現にはコミュニティスクールが有効と考えるが、導入に向けた計画は。

A ご指摘のとおり学校の運営や課題に対して保護者、地域住民等が参加できるコミュニティスクールの導入は、学校と家庭、地域が連携した教育の推進の一助となると考えます。他市の先進事例を参考にしつつ、まずは研究指定校を設けて取り組みや研修の充実を図り、そこで得られた成果、ノウハウを各校に周知することで導入を図ってきたいと考えています。(教育長)

質問の主な項目

- ・東京オリンピック・パラリンピックの事前合宿誘致に向けた府中湖の周辺整備について